

# 令和5(2023)年度実施 看護学部卒業生アンケート調査 報告

2023.12.6

## 【調査目的】

看護学部卒業した卒業生に、教育成果などについてアンケート調査を実施し、今後の教育改善に役立てることを目的とする。

## 【調査方法】

1. 期間：令和5（2023）年10月1日～10月20日
2. 対象：令和3（2021）年度に看護学部を卒業した卒業生74名
3. 方法：郵送による調査票の配付、Google Formによる回答

## 【調査回答】

1. 配付：令和3（2021）年度看護学部卒業生のうち就職先を把握している68名（聖マリアンナ医科大学病院等36名、その他の病院32名）
2. 回答数：11（11月1日現在）
3. 回収率：16%

## 【調査結果】

### I. あなた自身について

#### 問1. 勤務先（種別）

①病院(20床以上) 一般病院	②病院(20床以上) 特定機能病院	③病院(20床以上) 地域医療支援病院	④病院(20床以上) その他の病院
5	3	2	1
⑤診療所 有床診療所(1～19床)	⑥診療所 無床診療所(0床)	⑦その他	
0	0	0	

#### 問2. 現在の職業に満足しているか。

①満足している	②ある程度満足している	③あまり満足していない	④満足していない
1	7	2	1

#### 問3. 今後のキャリアアップの希望

①ある	②ない
5	6

#### 問3-2

大学院博士前期課程	大学院博士後期課程	認定看護師	専門看護師	特定行為研修
		3	1	1
看護管理者	診療看護師	助産師	保健師	教育・研究者
1				
その他	※海外で働く			
1				

II. 大学教育とこれまでの経験との関係

問4. 資質・能力について、現在の職業や社会生活に役立っているか。(DP)

		役立っている	ばど 役ち 立ら つか つて とい え	な ど ち ら と も い え	い ば ど 役 ち 立 ら つか つて とい え	役立っていない
豊かな人間性と倫理観をもとに、人間の尊厳と権利を擁護する態度	豊かな人間性	2	4	5	0	0
	倫理観	2	5	4	0	0
	人間の尊厳と権利を擁護する態度	3	3	5	0	0
自己理解・自己受容をもとに、自己を活用した対人支援力	自己理解・自己受容	1	5	5	0	0
	対人支援力	1	4	6	0	0
看護を必要とする人々に、的確な看護判断のもとで確実に実践できる基礎的能力	看護判断力	2	4	5	0	0
	看護実践力	2	3	5	1	0
地域社会の包括的ヘルスケアシステムの一員として、人々の健康生活に貢献する基礎的能力	貢献しようとする態度	2	4	5	0	0
看護専門職として自らの価値観を形成し、成長し続けようとする力	看護専門職として自らの価値観	1	4	6	0	0
	成長し続ける力・学び続ける力	2	5	4	0	0

問5. 資質・能力について、現在の職業や社会生活に役立っているか。(社会人基礎力)

	役立っている	ばど 役ち 立ら つか つて とい え	な ど ち ら と も い え	い ば ど 役 ち 立 ら つか つて とい え	役立っていない
物事に進んで取り組む力	0	5	5	0	0
他人に働きかけ巻き込む力	0	4	6	0	0
目的を設定し確実に実行する力	0	6	4	0	0
現状を分析し目的や課題を明らかにする力	0	4	6	0	0
課題の解決に向けたプロセスを明らかに準備する力	0	5	5	0	0
新しい価値を生み出す力	0	3	7	0	0
自分の意見をわかりやすく伝える力	0	3	6	1	0
他者の意見を丁寧に聴く力	1	5	3	1	0
意見の違いや立場の違いを理解する力	1	4	5	0	0
自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力	1	4	5	0	0
社会のルールや人との約束を守る力	2	3	5	0	0
ストレスの発生源に対応する力	1	3	5	0	1
絶えず相手の立場になって考えたり行動したりする力	1	5	4	0	0

問6. 社会人として必要と思うもの、大学時代に身につけておけばよかった資質・能力

- ・上司や医師への報告の仕方を学べたらより現場でスムーズに活かせたと思います。
- ・自分より立場が上の人たちとの関わり方
- ・緊急時の対応方法や心得(自身の時はコロナ禍ということもありなかなか難しかったが、もっと患者と関わりながら看護師の動きなどを体験しながら学ぶことで働いてからのギャップは少なくなったかもしれない。)
- ・社会人基礎力

問7. 在学中勉強した専門科目で、現在役立っていると実感している科目

- ・解剖生理
- ・成人看護、基礎看護、老年看護

問8. 在学中、もっと勉強しておけばよかったと思う専門科目

- ・解剖
- ・手術機材について、麻酔について、急変時対応について
- ・形態機能学
- ・情報

問9. 総合的にみて、本学で学んだことについて満足しているか。

満足している	ある程度満足している	あまり満足していない	満足していない
2	7	1	0

問10. 本学、あるいは看護学部が良かったと思う点、もっと重視したり改善したりした方が良いと思う点

- ・先生方との距離が近いと、伸び伸びと看護について学ぶことができました。また、さまざまな看護観を考えるきっかけとなりました。今でも、東京純心大学に入学できて良かったと思っております。
- ・縦横の繋がりがもう少し欲しかった。就職してからのギャップはつきものだと思うが、もう少し卒業生との交流などを深めて看護師と看護学生が話し合える時間を設けてギャップをできる限り少なくできるようにしていくと看護師になってからの心の持ちようが変わってくるかもしれないと感じた。